



上天気にもほどがあると言いたくなるような絶好のサイクリング日和の中、「愛南・宿毛サイクルコネクト」大自然にもほどがある「2025」が11月29日(土)に開催されました。

愛南町と宿毛市の大自然を生かした総距離約100キロのコースを舞台に、両市町の食・自然・おもてなしなどを堪能できるライドイベントを開催することにより、観光振興および地域活性化を図るもので、全国各地から106人のサイクリストが参加しました。

朝7時半に愛南町役場をスタートした参加者らは、直後に待ち受ける広域農道の勾配に歯を食いしばりながらペダルをこぎ、続け、田畠から立ちのぼる白い靄に包まれながら篠山を目指しました。

コース設定には、四国を拠点に活動するロードレースチーム「ヴェロリアン松山」に協力していただいたほか、当日はハッピーサイクリングリエイター倉瀬満帆さん(まほ)MCを務めていたくなど、多くの協力を得て初開催を迎えるました。

全6カ所のエイドステーションでは両市町の地元グルメが振る舞われ、参加者らをもてなしました。

順位もタイムも関係ない今大会。地元のグルメに舌鼓を打ち、立ち止まって美しい風景の写真を撮り、人のふれあいを楽しみ、旅するように走ることを楽しんだ参加者。完走率は見事100%で、ロングライドを終えた表情からは、疲れではなく爽快感と達成感で溢れていました。

